

月次報告書

(令和5年2月度)

1. 所感 ～「節分」に思う～

2月3日といえば節分、皆さんのご家庭ではこの節分の日をどのように過ごされているでしょうか。盛大に豆まきをされているご家庭もあるのではないのでしょうか。

節分とは本来、季節の分かれ目のことでありますから年に4回、立春・立夏・立秋・立冬の各々前日が節分となります。なかでも季節が冬から春となる立春の前日の節分は、明治期に太陽暦が採用されるまでは立春正月の考え方から年の変わり目として重視され、宮中での年間行事となっている旧暦の大晦日に鬼（病気や災いをもたらす神）を追い払う追儺（ついな）式と相まって節分といえば立春の前日の節分を指すようになりました。

追儺式には平安作法・祭具・衣装などの再現や力士による土俵入りなどさまざまな方法があり、鬼を撃退するには鬼よりも強い存在が必要だったようです。

現在の節分の時期に行う追儺式では、大豆が鬼の毒に効く、豆の読み方が魔滅（まめつ）に通じる、鬼の目をつぶす魔目（まめ）に通じる、などの説から豆まきが欠かせなくなっています。「鬼は外、福は内」という掛け声で豆をまきますが、奈良県吉野にあるお寺では「福は内、鬼も内」という掛け声をするそうです。これは鬼を払うのではなく、鬼を改心させ弟子にするという故事に基づいたものだそうですが、鬼と共存していこうとする姿勢は、今のウィズコロナと似たものを感じさせます。

さて、我が家の節分は男性が歳男となり準備からすべてを取り仕切ります。まずは豆まき用の大豆を炒るのですが、鉄鍋を用い低温で焦がさないようにします。もちろん多少焦げてしまうのですが、焦げすぎた豆をまくと火事になるからという言い伝えからです。それは藁ぶき屋根の家が多かった時代、ある家で焦げ焼けたままの豆が藁に燃え移り火事になってしまったそうです。ですので、炒った豆は手で触り冷めるまで豆はまかないようにしています。次にイワシの頭をよく焼き葉の付いたヒイラギの枝に刺し、玄関に飾ります。イワシは口を開いて牙を向け、ヒイラギの葉は鋸歯に伸びて棘を向け、鬼を追い払うそうです。そして掛け声は「大福万来、福は内、悪魔退散、鬼は外」を3回繰り返しながら、家の内外にまくという先祖伝承を代々引き継いでいます。子供が小さい頃は、よく豆をぶつけられました。（笑）

人天ともに不調が続く昨今、令和5年が良き年になるよう、節分を期して“穏やかなれ”と、平安に過ごしたいものです。

2. 行事等（令和5年1月）

開催日	行事名
6日（金）	事業推進検討委員会
13日（金）	地域班ブロック長会議
24日（火）	巡回指導/1月度安全・適正就業推進委員会
27日（金）	正副理事長会議

3. 業務遂行上の留意点

自転車は車のなかま～自転車ルールを守って安全運転～

●自転車安全利用5則

1. 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. 飲酒運転は禁止
5. ヘルメットを着用

●絶対やめましょう！「ながらスマホ」

●埼玉県では、自転車条例により、自転車保険が義務となっています。

4. 事業実績

		令和5年1月	前年同月	累計進捗	前年同月累計進捗
登録会員数（人）		331	340		
受託件数 （件）	請負	128	146	1,926	2,204
	派遣	13	9	90	75
契約金額 （円）	請負	6,011,769	6,439,225	82,403,881	97,284,761
	派遣	1,752,031	1,192,070	15,937,070	12,588,003
就業実人数 （人）	請負	160	170	232	234
	派遣	29	26	47	39
就業延人数 （人）	請負	1,552	1,648	19,337	22,399
	派遣	356	222	3,110	2,373

5. 会員の入退会（令和5年1月1日～31日）

新入会員		
会員No	氏名	所属地域班
2133	関口 さち子	南部 下忍・前谷班
2134	太田 千代子	南部 埼玉西部班
2135	尾崎 健二	東部 太田班
2136	菅間 洋子	西部 星宮・持田北
2137	小林 弘明	北部 星河北部班
2138	秋山 富夫	東部 太田班

退会会員		
会員No	氏名	所属地域班
1282	山田 裕久	西部 城西・持田東部

入会時オリエンテーションのお知らせ

入会されました会員を対象に、入会説明会で説明出来なかったセンター事業や就業に関する詳細について説明会を行うものです。

また、簡易的な面談やこれからの就業に係る説明を行いますのでご参加ください。

日時：2月22日（水）13時30分～

場所：センター 講習室

